

設計資料

道路改良會技術部

は し が き

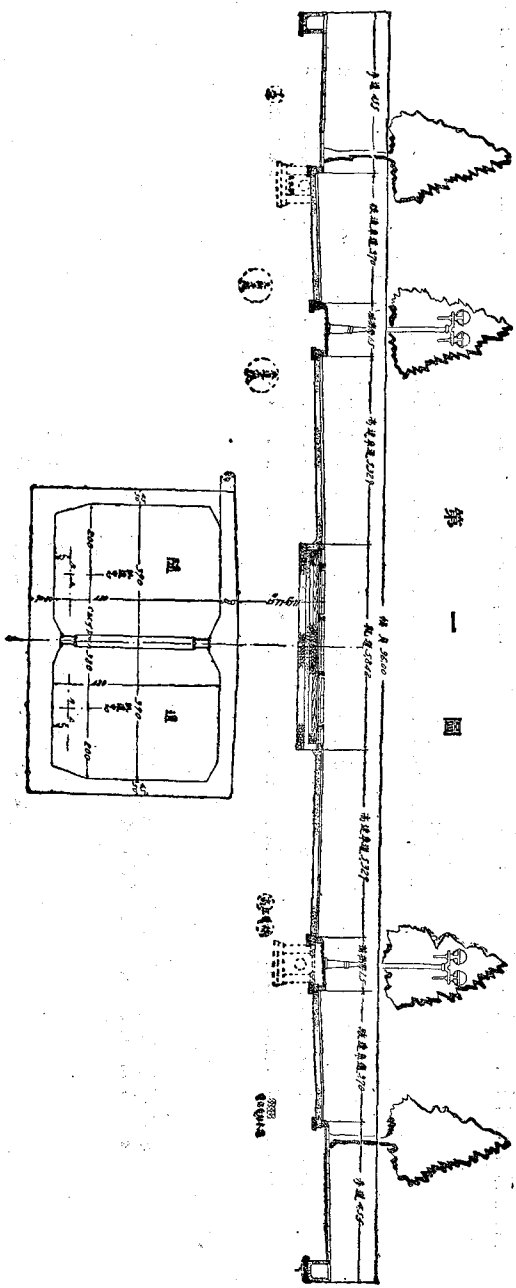
科學の進歩に伴つて日一日と新しい技術が発見される、夫れを工事の實施に應用することは極めて必要なことであつて、新進技術應用の尖端に立たんとする人は常に夫れを領得しておく必要がある、て茲に新しい試みを紹介するが、判りきつたことを詳々しく説明するのは現時代に適應しないから圖示して參考に供する。

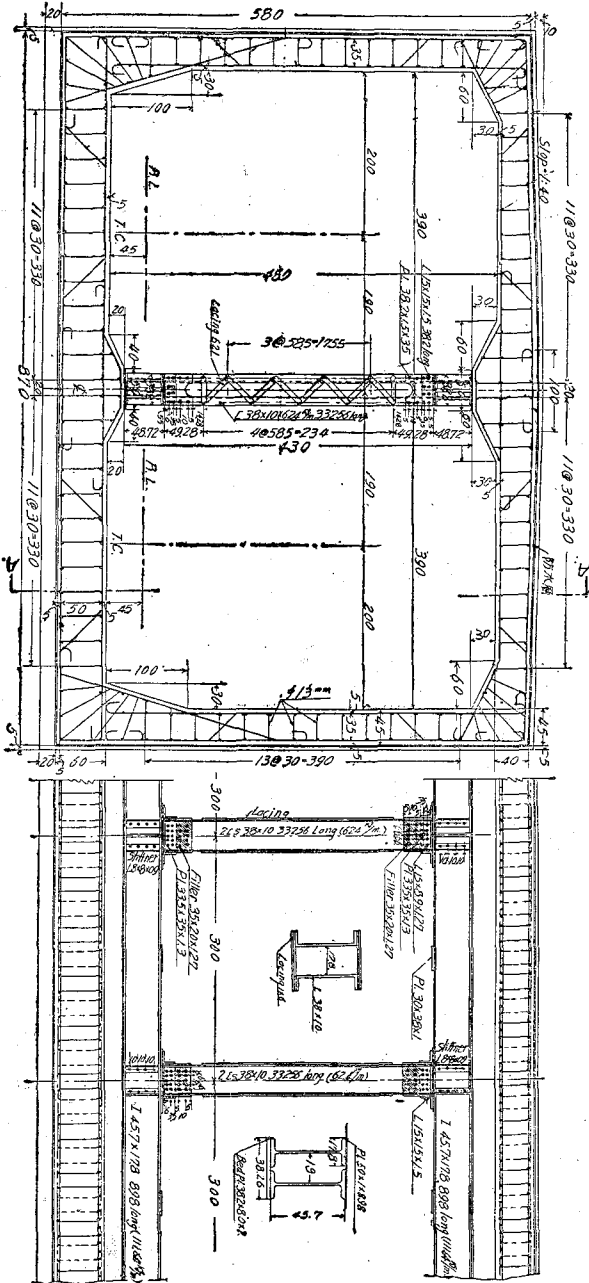
濫觴時代に於ける本邦地下鐵道の構造様式

我國に於ける地下鐵道は、昭和二年十二月三十日上野淺草間の開通を以て嚆矢とし、昭和四年十二月三十日上野萬世橋間の開通を見、目下工事中のものには萬世橋新橋間、新京阪電鐵の京都市内乘入線、大阪市電の大阪驛前本町間等あり、最近工事着手豫定のものには阪神電車の神戸市内乘入線あり、誠に昭和高速度時代の花形である。

地下鐵道の構築法には、四圍の情況に依り、種々の形式段取等あるべきは、周知の事なるも、前記各鐵道其特殊の箇所を除くの外、何れも、路下式鐵骨（又は鐵筋）混凝土桁梁々造とし、其の施行法に開鑿式を採用せるは、期せずして我國地下鐵道初期時代に於ける構造様式を構成せるものと觀あり。

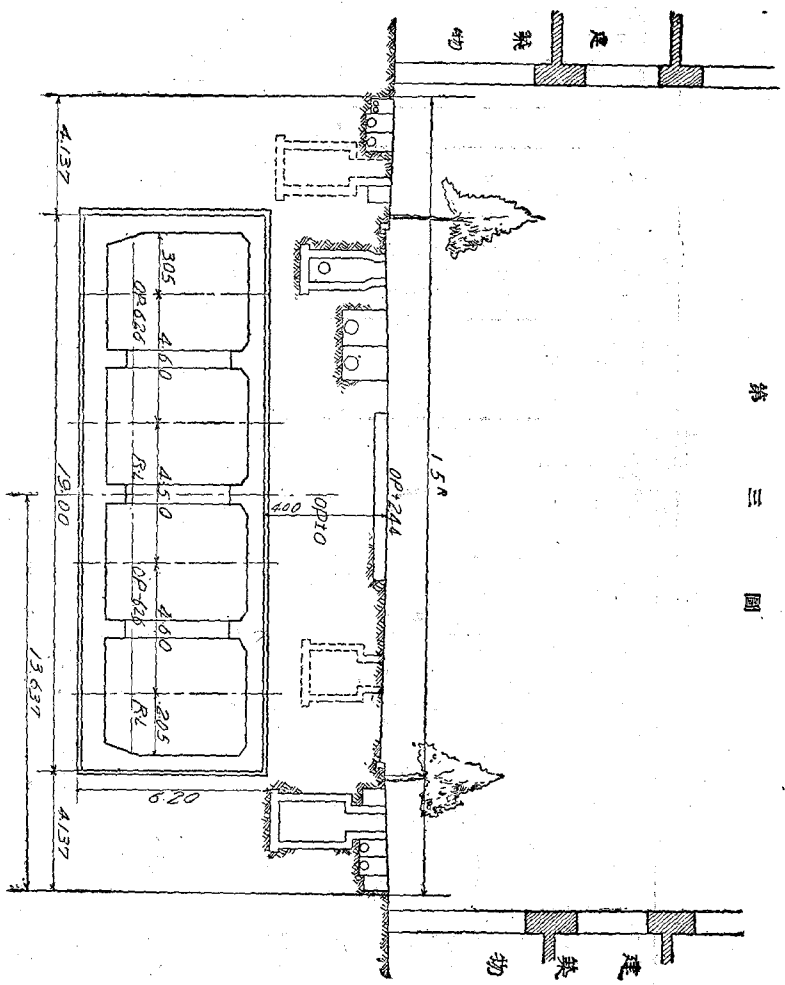
現在本邦に於ける地下鐵道は、何れも複線にして、其の構造寸法には、地質の差異、土被りの厚さ、計畫車輛の大きさ等により、種々あるべきも、第一、第二回に掲げたる阪神電鐵神戸市乗入線に計畫中のものは、其の代表的のものであり、第三圖以下の如く、大阪市電工事中のものには複線が二箇並行する箇所、樞樞の天井部を圓形とせる箇所等あり、應用の妙趣として掲ぐるものである。(軌第一報)

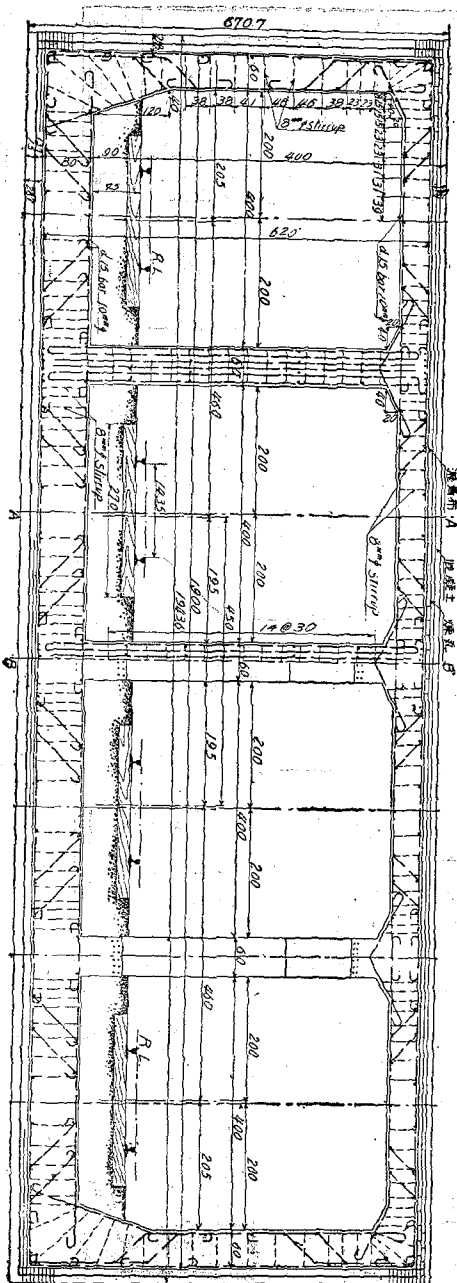




第 二 圖

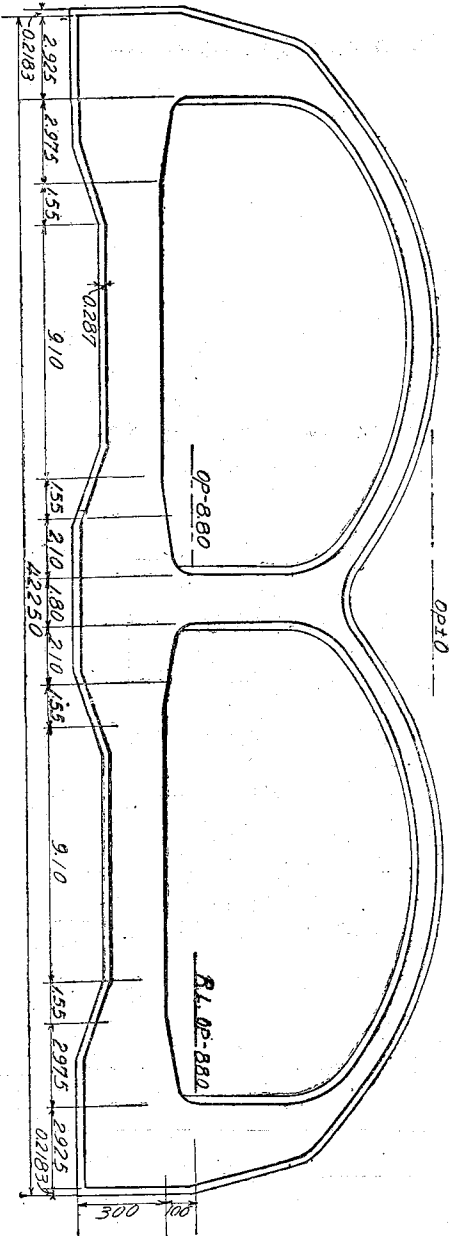
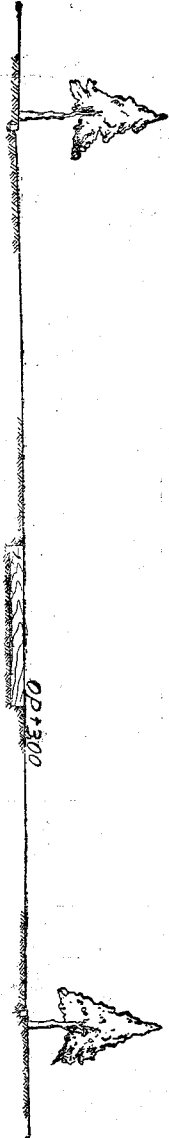
第三圖



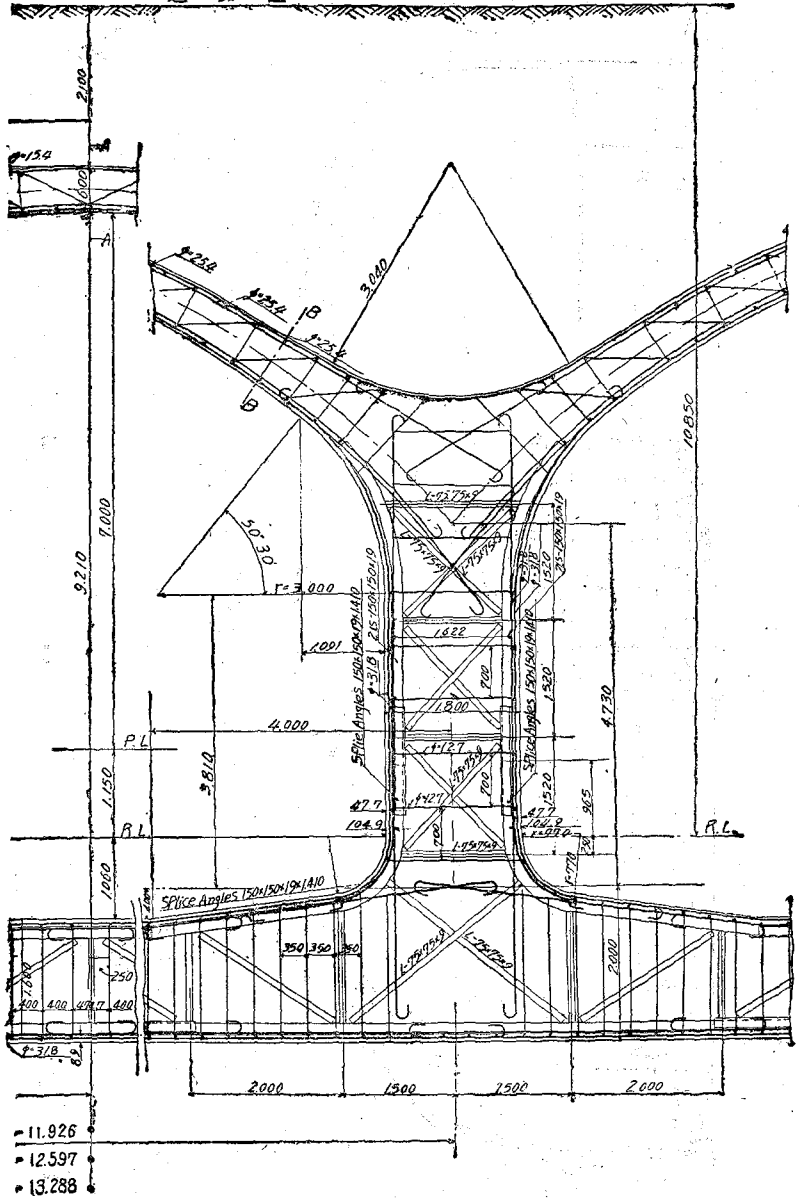


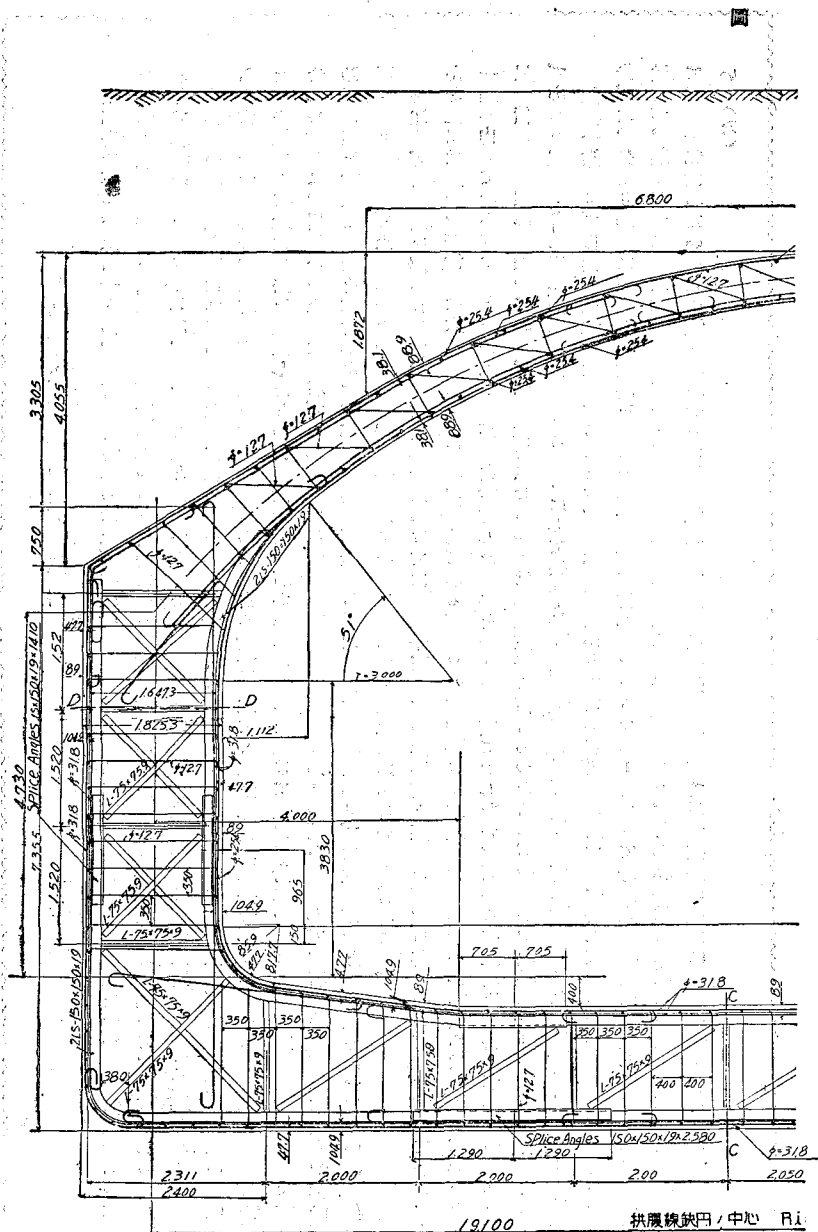
第四圖

第 六 圖



道 路 面





拱腹線缺円 / 中心 R.I.
 拱軸線缺円 / 中心 R.D.
 拱背線缺円 / 中心 R.C.